

統計から見る長野県観光の現況

平成26年9月

長野県観光部山岳高原観光課

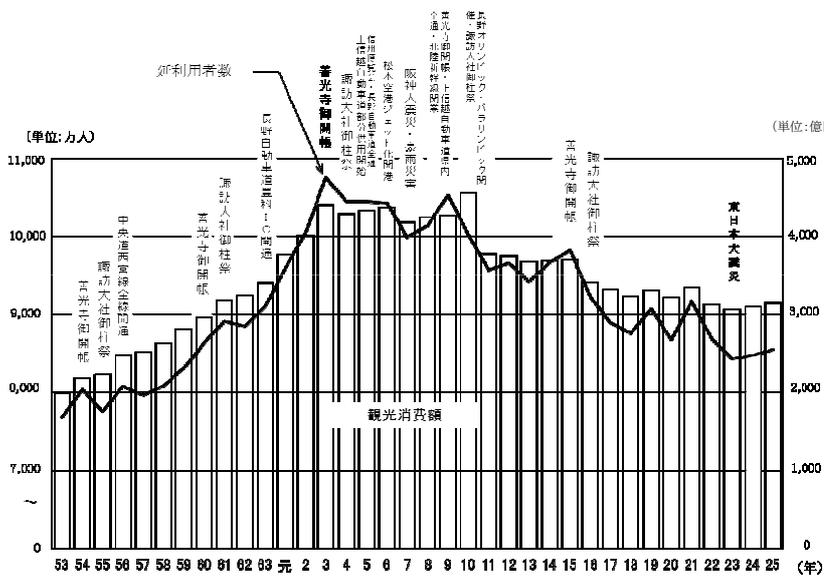


長野県観光の姿

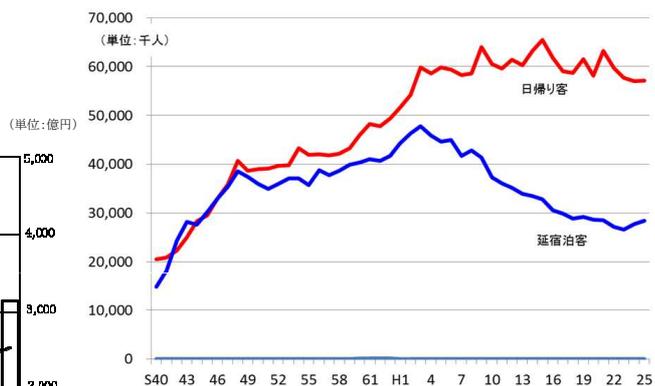
観光旅行者の推移

観光地利用者統計調査(長野県)

■観光旅行者数及び観光消費額の推移



■日帰り客と延宿泊者の推移



- 長野県の観光旅行者数は平成3年をピークに減少傾向にある。
- 観光消費額についても長野オリンピック開催の平成10年をピークに減少している。

➢要因

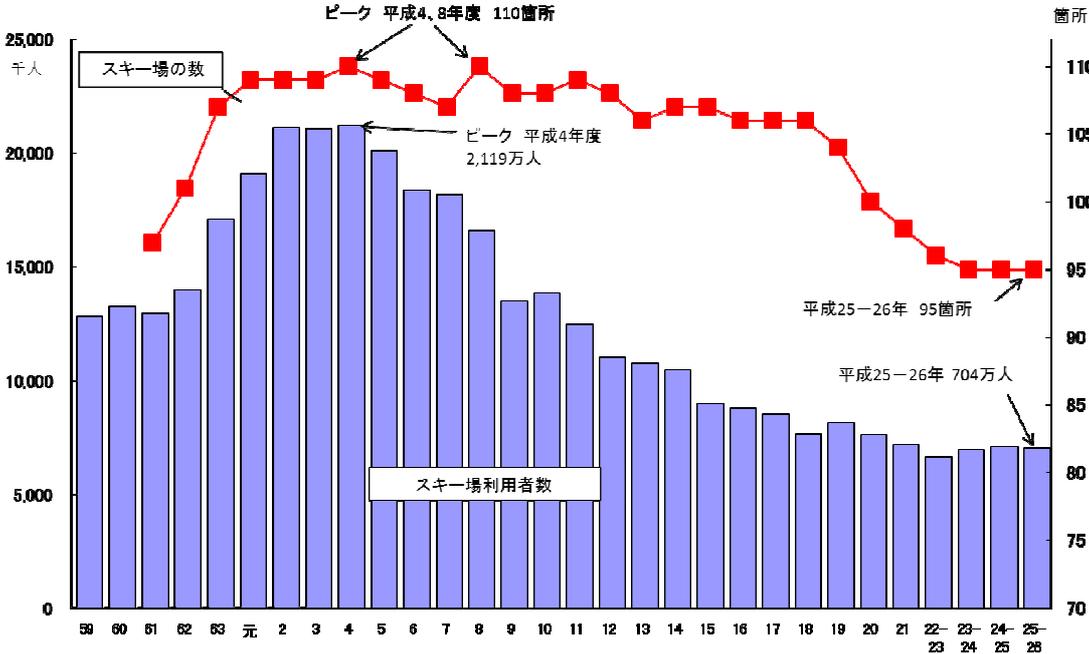
- ・リーマンショックや円高による景気後退
- ・団体旅行から個人旅行へ旅行形態が変化
- ・スキー客の減少
- ・高速交通網の整備に伴う日帰り圏化

区分	昭和53年	平成3年	10	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
延利用者数	7,682	10,764	10,028	9,665	9,821	9,229	8,894	8,756	9,073	8,675	9,174	8,680	8,435	8,473	8,554
対前年伸び率	-	7.1	△ 4.8	2.6	1.6	△ 6.0	△ 3.6	△ 1.6	3.6	△ 4.4	5.8	△ 5.4	△ 2.8	0.5	1.0
観光消費額	1,997	4,403	4,565	3,693	3,710	3,410	3,318	3,241	3,311	3,217	3,349	3,127	3,067	3,097	3,148
対前年伸び率	-	9.6	6.9	0.2	0.5	△ 8.1	△ 2.7	△ 2.3	2.1	△ 2.8	4.1	△ 6.6	△ 1.9	1.0	1.7

スキー場利用者の推移

スキー・スケート場利用者統計調査(長野県)

■スキー場利用者数とスキー場数の推移

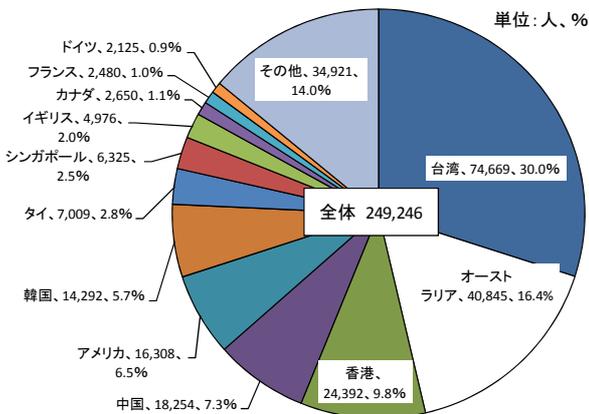


> スキー場利用者数は平成4年度をピークに急激に減少、平成25-26年は704万人でピーク時の3割程度に落ち込んでいる。
 > 平成25-26年シーズンは、3シーズンぶりに昨シーズンより減少した。
 > スキー場数については、平成18年以降減少傾向が続き、平成25-26年は95箇所となっている。

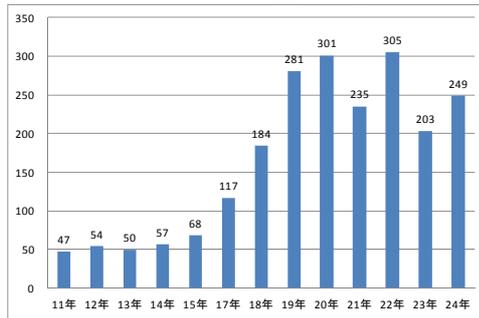
外国人宿泊者数の推移

外国人宿泊者数調査(長野県)

■国・地域別宿泊者数割合(平成24年)



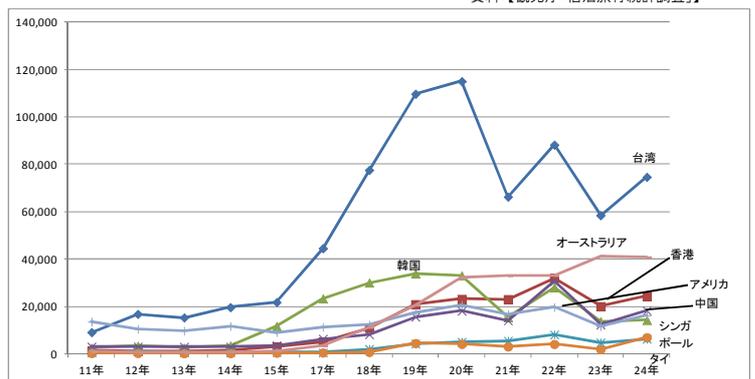
■外国人宿泊者数の推移(全体)



(参考)外国人宿泊者数の全国順位(H25)

順位	都道府県	人数(万人/年)
1位	東京都	983
2位	大阪府	431
3位	北海道	307
4位	京都府	263
5位	千葉県	205
6位	沖縄県	149
7位	愛知県	115
8位	神奈川県	107
9位	福岡県	90
10位	静岡県	56
11位	長野県	54
12位	兵庫県	51
13位	山梨県	49
14位	長崎県	42
15位	熊本県	42

■主な国別の外国人宿泊者数の推移



資料:【観光庁「宿泊旅行統計調査」】

> 国別の割合では台湾が3割、アジア地域全体では過半数を占めている。

> 平成17年から急激に増加しているが、21年は新型インフルエンザや円高の影響で減少、23年は東日本大震災及び原発事故の影響で減少し、24年は回復傾向にある。

> 平成24年は、スキーシーズンに訪れるオーストラリアの宿泊者数が横ばいとなった。

観光旅行者数（宿泊者数）

宿泊旅行統計調査(観光庁)

■延宿泊者数(H25)

(万人)

1位	東京都	5,282
2位	北海道	3,097
3位	大阪府	2,388
4位	静岡県	2,092
5位	沖縄県	2,079
6位	千葉県	2,040
7位	京都府	2,009
8位	長野県	1,875
9位	神奈川県	1,684
10位	愛知県	1,465
11位	福岡県	1,399
12位	兵庫県	1,323
13位	宮城県	1,133
14位	福島県	1,075
15位	栃木県	972

■実宿泊者数(H25)

(万人)

1位	東京都	3,591
2位	北海道	2,362
3位	大阪府	1,733
4位	静岡県	1,672
5位	千葉県	1,548
6位	長野県	1,398
7位	京都府	1,302
8位	神奈川県	1,299
9位	沖縄県	1,226
10位	愛知県	1,095
11位	福岡県	1,074
12位	兵庫県	1,022
13位	宮城県	902
14位	栃木県	788
15位	福島県	780

※観光目的以外の宿泊者含む

※観光目的以外の宿泊者含む

じゃらん宿泊旅行調査2014

(株)じゃらんリサーチセンター

■延宿泊旅行者数

上位15位ランキング (万人)

1位	東京都	1,720
2位	北海道	1,027
3位	神奈川県	832
4位	静岡県	831
5位	長野県	773
6位	大阪府	769
7位	京都府	691
8位	千葉県	662
9位	兵庫県	567
10位	福岡県	499
11位	沖縄県	496
12位	愛知県	445
13位	栃木県	410
14位	三重県	407
15位	宮城県	350

旅行動向2011

(財)日本交通公社

■宿泊観光入込客数(試算)

上位15位 (万人/年)

1位	北海道	1,396
2位	長野県	1,206
3位	静岡県	1,159
4位	東京都	988
5位	神奈川県	864
6位	千葉県	833
7位	栃木県	592
8位	京都府	579
9位	兵庫県	522
10位	群馬県	518
11位	沖縄県	481
12位	福島県	438
13位	新潟県	429
14位	大阪府	427
15位	三重県	414

※5年分の「旅行先」の構成比をもとに、都道府県ごとの年間入込客数を試算

▶宿泊旅行者数は、ビジネス目的等を含む観光庁宿泊旅行統計調査では8位、観光旅行に限定した民間調査では、2位、5位と上位に位置している。

▶どの調査においても、東京都、北海道、静岡県、神奈川県など同じ顔ぶれが上位に位置している。

観光消費額

観光地点パラメータ調査2013(長野県)

■旅行1回あたりの費用

※バック料金含む 内容:交通費、宿泊費、飲食費、土産代、入場料、その他

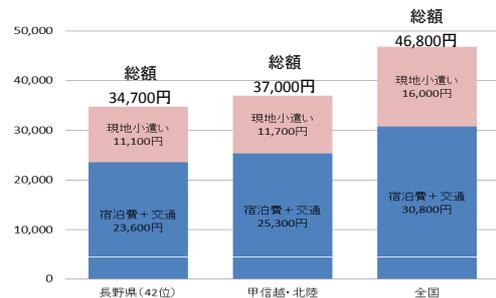


じゃらん宿泊旅行調査2014

(株)じゃらんリサーチセンター

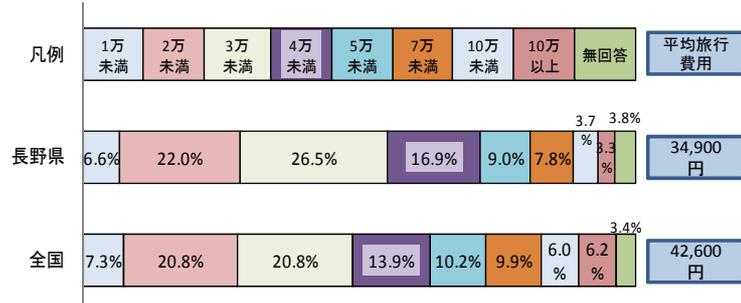
■宿泊旅行1回あたりにかかった費用

※各県への旅行件数ベース ※ただし、全体の0.5%トリム平均

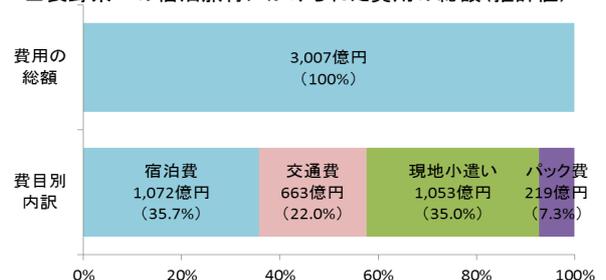


旅行動向2011((財)日本交通公社)

■旅行費用価格帯シェア



■長野県への宿泊旅行にかけられた費用の総額(推計値)



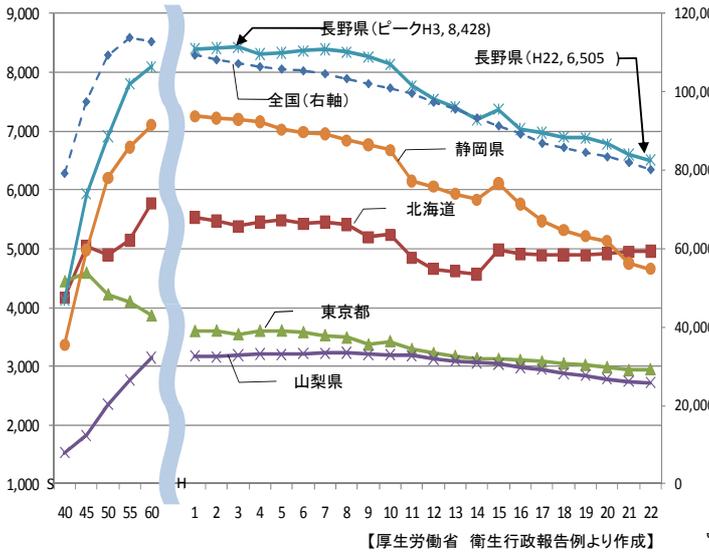
▶一人当たりの旅行費用は、じゃらん宿泊旅行調査と旅行動向2011ともに全国平均を下回っている。

全国における長野県の
ポジション

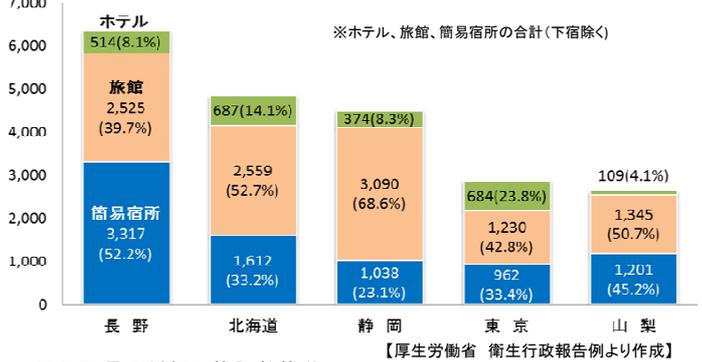
宿泊施設数

■宿泊施設数上位5都道府県の推移

※ホテル、旅館、簡易宿所の合計(下宿除く)
※平成8年以前は暦年

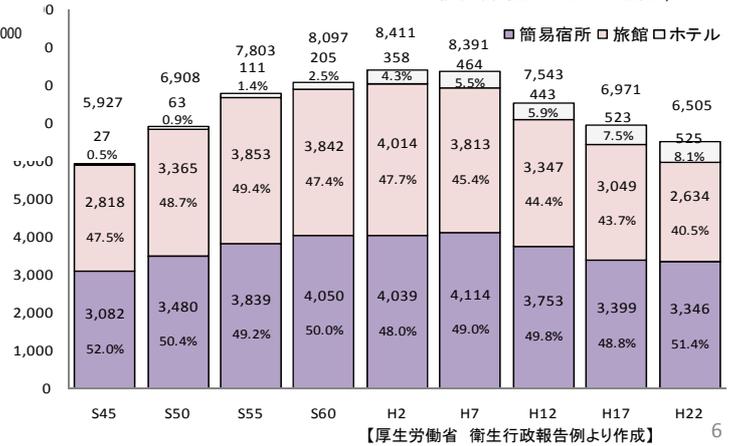


■施設数上位5都道府県の種類別施設数(平成24年度)



■長野県の種類別施設数推移

※ホテル、旅館、簡易宿所の合計(下宿除く)



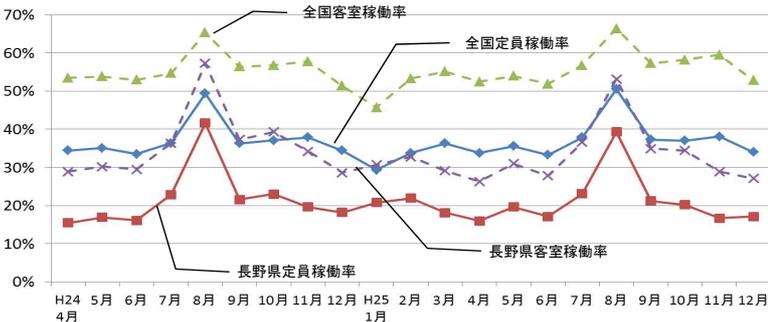
- ▶全国的に施設数はS60以降減少傾向となっている。
- ▶上位の都道府県の中では、長野県は簡易宿泊所の比率が目立って高い。これは、民宿やペンションの数が多いことを示している。
- ▶長野県の推移では、ホテルの施設数、割合ともに増加している。
- ▶一方、旅館の占める割合は減少傾向となっている。

全国における長野県の
ポジション

客室稼働率

宿泊旅行統計調査(観光庁)

■定員稼働率、客室稼働率の推移(H24.4月～H25.12月)



▶定員稼働率、客室稼働率の月別推移の傾向は、概ね全国の傾向と同様であるが、稼働率の水準は全国平均を下回っている。

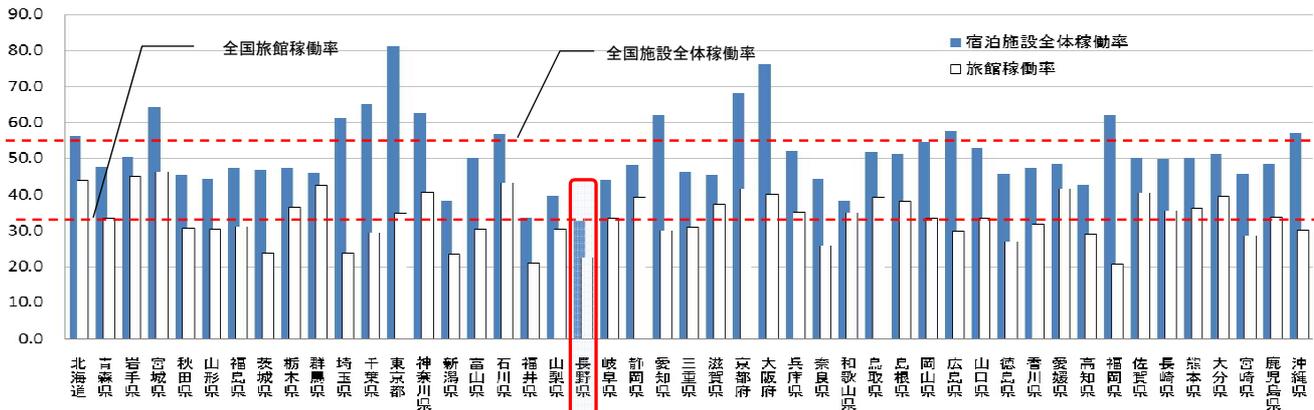
▶客室稼働率の都道府県比較では、旅館は41位、施設全体は46位と最下位水準になっている。

(参考)宿泊施設の種類の割合

	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	会社・団体の宿泊所	簡易宿所
全国	47.9%	5.3%	14.0%	2.1%	4.5%	26.3%
長野県	53.3%	8.2%	3.5%	0.2%	6.0%	28.8%

■都道府県別客室稼働率(施設種類全体と旅館・H25.1月～12月)

(単位:%)

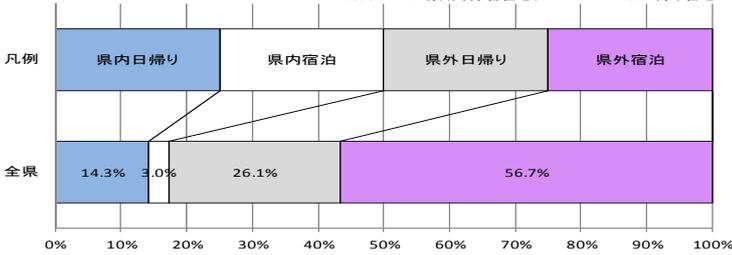


観光客の属性（居住地）

観光地点パラメータ調査（長野県）

■県内・県外、日帰り・宿泊別割合

※サンプル数(同行者含む)ベース ※日帰り含む

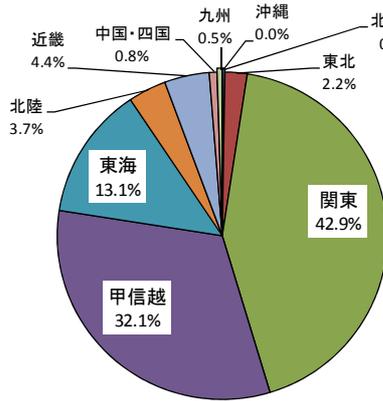
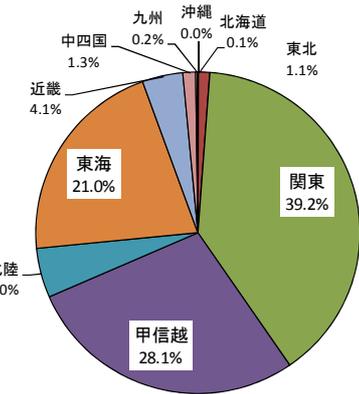


▶観光地点パラメータ調査では、約8割が県外を占めており、宿泊者は全体の6割となっている。

▶宿泊旅行者の居住地ブロックは、日帰りを含めた全体では関東エリアが約4割、宿泊旅行では関東エリアが過半数を占めている。

■旅行者の居住地ブロック（宿泊・日帰り全体）

■宿泊旅行者の居住地ブロック

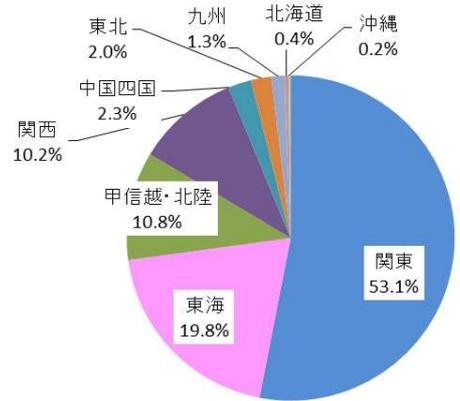


じゃらん宿泊旅行調査2014

(株)じゃらんリサーチセンター

■宿泊旅行者の居住地ブロック

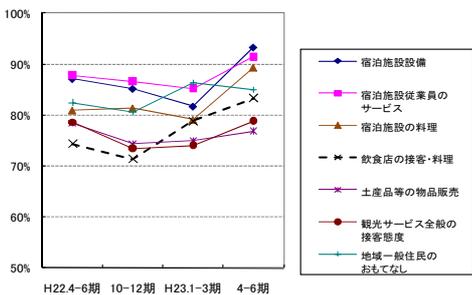
※延べ宿泊旅行者ベース



旅行者の満足度

観光地点パラメータ調査（長野県）

■長野県の観光サービス満足者の割合



じゃらん宿泊旅行調査2014

(株)じゃらんリサーチセンター

■総合的な満足度と項目別評価（単一回答）

※旅行件数ベース

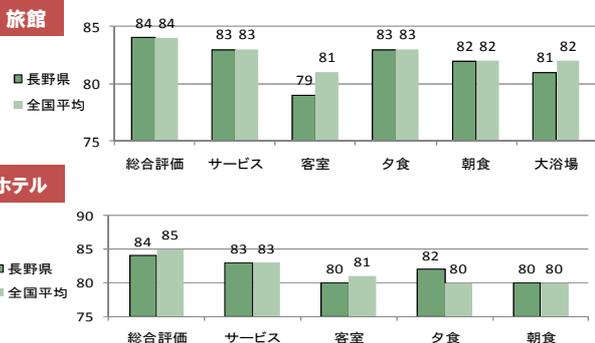
項目	長野県	順位
総合的な満足度	86%	14位
地元ならではのおいしい食べ物が多かった	56%	33位
魅力のある特産品や土産物が多かった	48%	28位
魅力的な宿泊施設が多かった	43%	18位
子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	21%	21位
若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	24%	15位
大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	41%	16位
地元の人のホスピタリティを感じた	23%	27位
現地で良い観光情報入手できた	24%	28位
現地へのアクセスが良かった	39%	30位

※総合的な満足度の全国平均は84%

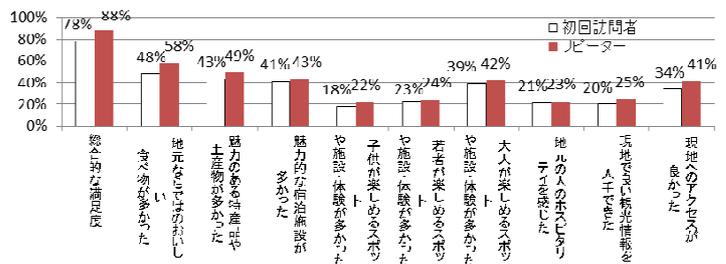
JTB宿泊統計年報2011

(株)ツーリズム・マーケティング研究所

■宿泊施設の評価点（JTB宿泊アンケート）



■来訪経験別に見た、総合的な満足度と項目別評価



▶観光地点パラメータ調査による聞き取り調査では、宿泊施設関連の満足度が比較的高くなっている。

▶民間調査による満足度はほぼ全国平均並みとなっている。

▶じゃらん宿泊旅行調査では、初回訪問者、リピーターとも同様な評価となっている。

旅行者の来訪意向

じゃらん宿泊旅行調査2014(株)じゃらんリサーチセンター

■回答者全体の来訪意向(複数回答)

※宿泊旅行実施者ベース
※今後1年くらいに行ってみたい都道府県

順位	都道府県	来訪意向率(%)
1位	北海道	30.0
2位	沖縄県	27.6
3位	京都府	15.6
4位	東京都	11.4
5位	大阪府	6.2
6位	長野県	6.1
6位	鹿児島県	6.1
8位	長崎県	5.5
9位	神奈川県	5.4
10位	福岡県	5.2
11位	千葉県	4.4
12位	石川県	4.2
12位	静岡県	4.2
14位	青森県	3.6
14位	熊本県	3.6
14位	大分県	3.6

■宿泊旅行者の再来訪意向

※各県への宿泊旅行者ベース

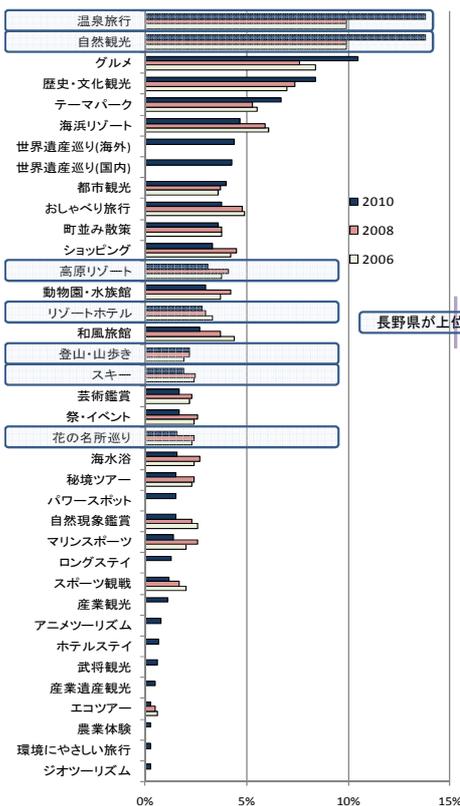
順位	都道府県	来訪意向率(%)
1	沖縄県	43.3
2	北海道	40.2
3	東京都	28.0
4	長野県	21.8
5	京都府	21.4
6	千葉県	20.9
7	神奈川県	15.2
8	宮城県	14.9
9	大阪府	14.6
10	福島県	14.5
11	静岡県	13.8
11	福岡県	13.8
13	秋田県	13.6
14	栃木県	13.3
15	岩手県	13.0

▶じゃらん宿泊旅行調査によると、来訪意向が全国6位、再来訪意向が全国4位となっており、上位に位置しているが、1位、2位の北海道・沖縄県に比べると意向率に大きな開きがある。

旅行タイプと旅行先

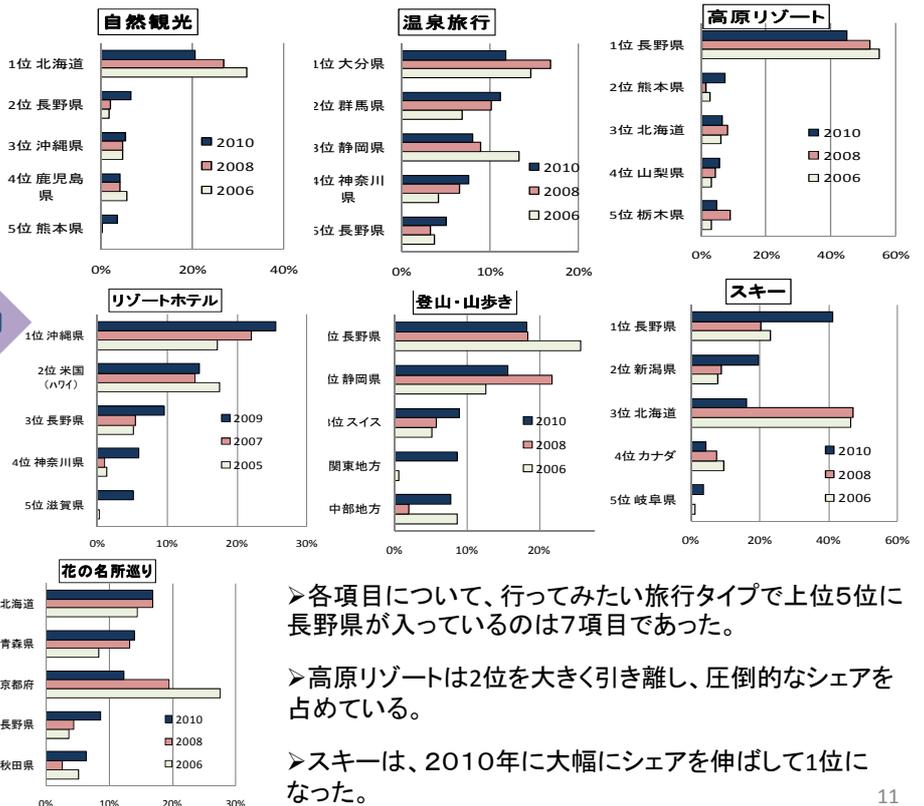
旅行者動向2011(財)日本交通公社

■行ってみたい旅行タイプ(複数回答)



■旅行タイプ別の行ってみたい旅行先で長野県が上位の項目

※国内・海外問わず自由回答



▶各項目について、行ってみたい旅行タイプで上位5位に長野県が入っているのは7項目であった。

▶高原リゾートは2位を大きく引き離し、圧倒的なシェアを占めている。

▶スキーは、2010年に大幅にシェアを伸ばして1位になった。

地域ブランド戦略サーベイ(㈱日経リサーチ)

※調査方法:インターネット調査 回答者:年齢16歳~69歳
有効回答者数:18,574人 調査時期:2012年11月~12月
評価の算出方法:独自性、愛着度、購入意向、訪問意向、
居住意向の5つの評価項目から総合得点を算出

■地域ブランド力調査ランキング

順位	都道府県	スコア	2010順位	2008順位
1	北海道	1016	1	1
2	京都府	976	2	2
3	沖縄県	922	3	3
4	東京都	857	4	4
5	大阪府	850	6	5
6	神奈川県	800	5	7
7	鹿児島県	792	10	8
8	福岡県	787	7	9
9	兵庫県	770	8	6
10	奈良県	751	12	11
11	長崎県	732	9	14
11	広島県	720	11	16
13	長野県	683	17	10
14	香川県	682	24	29
15	愛知県	674	18	12

地域ブランド調査2013(㈱ブランド総合研究所)

※調査方法:インターネット調査 回答者:年齢20歳代~60歳代
有効回答者数:29,651人 調査時期:2013年7月3日~29日
調査内容:認知度、魅力度、情報接触度、情報接触経路、
観光意欲、居住意欲、産品購入意欲、イメージ、
地域資源評価など72の項目
魅力度については5段階評価で得点化

■都道府県の魅力度ランキング

順位	都道府県	点数	2012順位	2011順位
1	北海道	65.3	1	1
2	京都府	49.1	2	2
3	沖縄県	44.3	3	3
4	東京都	40.6	4	4
5	神奈川県	29.1	6	6
6	奈良県	27.3	5	5
7	福岡県	27.1	10	10
8	大阪府	26.2	8	7
9	長野県	23.9	7	8
10	兵庫県	22.6	11	9
11	長崎県	22.0	9	11
12	静岡県	21.3	12	12
13	宮城県	21.1	21	15
14	石川県	20.4	13	13
14	鹿児島県	20.4	18	17

▶両調査の上位4位までは、同じ顔ぶれとなっている。

▶長野県の順位は、地域ブランド戦略サーベイでは前回の17位から13位へ上昇しているが、地域ブランド調査では、前回の7位から2013年は9位と順位を下げた。

掘り起こそう、足元の価値。
伝えよう、信州から世界へ。